

木で遊ぼう！マイはし作り体験

(一社)北海道建築士会函館支部青年委員会 発表者：工藤誠

木で遊ぼう！マイはし作り体験

私たち北海道建築士会函館支部青年委員会は建築士会として何か地域のために出来ないか、建築の楽しさを皆に伝えることができないか、そして、伝えることで人手不足のこの業界を変えることが出来ないか、と考えていました。
限られた予算と人員で、ものづくりの楽しさを教えたいそこで浮かんだのが『マイはし作り体験イベント』でした。

マイはし作りと建築との共通点

- ・材料(木材)を加工して作る
かながけは家づくりでいうところの切込といった感じかと思えます。木を加工して、一つのものを作っていきます。
- ・仕上げを施していく。
かながけした箸に紙やすりをかけ、そして塗装を塗り仕上げていきます。それは家づくりの内装仕上げに通じる作業です。
- ・完成形をイメージし、デザインし、作る。
この全体の流れは、まさに設計から施工までの建築の流れそのもの。マイはし作りは建築の模擬体験とも言えます。

<イベントPR>

地元新聞紙やホームページによる事前告知を行い、イベントのPRをしています。



<建築士のPRのために>

アンケートや建築士のPRチラシを配ることで、このイベントが建築士会主催だということをPR



マイ箸ができるまで(作業工程)

①自分の箸をデザインする → ②木の棒にかながけをかける → ③紙やすりで表面を仕上げる → ④塗料を塗る → ⑤完成

(一社)北海道建築士会函館支部 青年委員会

ワークショップ 「もっと教えて！」

【参加者からの質問】

1. 予算はどの程度かかるか？
2. 活動の人数は？
3. 参加者は何人くらい？
4. 参加費はどうしてますか？
5. 一つの原価は？
6. 材種および塗料の種類は？
7. イベント告知の方法は？
8. イベント会場はどんなところですか？
9. 参加者に伝えたいことは？

【発表者からの回答】

1. 2万~3万円程度(士会負担)
2. 10名程度
3. 30名/回程度すぐに一杯になるので事前予約とした
4. 無料(今後も無料としたい)
5. 約100円
6. ヒバ材 ウレタン塗装(口にしても無害なもの)
7. 教育委員会より出される広報紙に掲載・新聞による事前告知
8. ショッピングモール、蔦谷書店のイベントスペースなど
9. ものづくりの楽しさを伝えたい(建築の楽しさを伝えるきっかけ作り)

ワークショップ 「何がよかった?」「もっと良くするにはどうする?」

【良かったところ】

1. 無料事業であること
2. 少人数・低予算で運営できるところ
3. 参加者が自分で体験できる
4. カナ台などケガに配慮している点

【もっと良くするアドバイス】

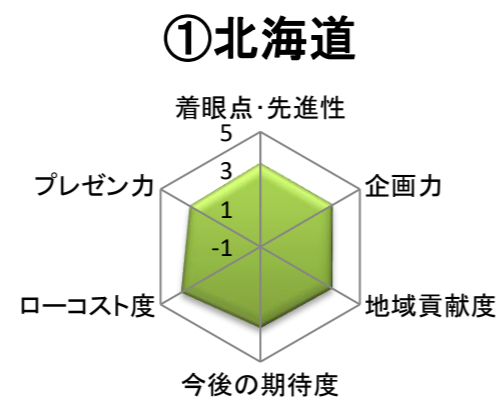
1. ペイントだけでなく木彫りなども取り入れてみては？
2. はし以外の食器(スプーンなど)も取り入れ多様性を持つ
3. 食育と連携しコラボレーション事業とする
4. 古いはしのメンテナンスなども行い、資源を大切に育む心を育む
5. 竹など他の材料を取り入れて、材質の違いを感じてもらう

アワード

バランスレーダーチャート

アンケート 「あなたの活動の明日へのヒント。何か見つかった?」

奨励賞



- ◇楽しく子供たちと触れ合えてよい
- ◇実用性のある箸が作れるので喜ばれそう
- ◇無料なので参加者が殺到しそう